

病害虫発生予察情報
7月月報

令和7年8月14日
東京都病害虫防除所

1 気象概況（東京都・東京管区気象台提供）

2025 年 7 月	気 温 (℃)						降 水 量 (mm)		日 照 時 間 (h)	
	最 高		最 低		平 均					
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年比 (%)	本年	平年比 (%)
上旬	34.8	5.8	24.8	3.7	28.8	4.2	30.5	49	76.8	197
中旬	30.7	0.4	23.3	1.1	26.6	0.8	27.0	53	54.5	116
下旬	36.2	4.8	25.1	2.0	29.9	3.3	0	0	126.4	208
平均	33.9	3.7	24.4	2.3	28.4	2.8				
合計							57.5	35	257.7	174

※ 観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所
※ 平年差（比）：平年値（1991～2020 年の平均値）からの差（比）

<天候概況>

上旬：高気圧に覆われて晴れの日が多くなったが、湿った空気や上空の寒気の影響で雨や雷雨があった。特に 10 日は、前線が南下し雷雨となり、練馬、世田谷及び小河内では激しい雨を観測した。

中旬：はじめは前線や湿った空気の影響で、中頃は台風第 5 号の影響で曇りや雨の日が多くなった。期間の終わりは、高気圧に覆われ晴れの日が続いた。

なお、関東甲信地方は 7 月 18 日ごろ梅雨明けしたとみられる（速報値）。

下旬：高気圧に覆われて晴れの日が続いた。

2 作物生育概況

（1）イネ

生育は概ね順調であった。

（2）野菜類

果菜類：高温と強日射の影響により、トマトで日焼け果、着色不良、裂果、ナスで日焼け果、艶なし果がみられた。キュウリは収穫期間が短縮される傾向となった。スイートコーンは一部で萎れが発生した。

葉菜類：キャベツ、ブロッコリー等の播種が始まり、苗の生育はおおむね順調であった。一部で乾燥により障害が発生した。

根菜類：ニンジン：高温乾燥の影響で播種期が遅れる傾向にあった。

イモ類：サツマイモの生育は概ね順調であった。サトイモの一部で乾燥による葉焼けや生育遅延がみられた。

(3) 果樹

農林総合研究センターの果樹圃場(灰色低地土)におけるナシ主要品種の生育状況は以下のとおりであった。

幸水:降雨が少なく、果実肥大が緩慢だった。また、前年に比べ、吸ガ類やシンクイムシの被害が多くみられた。

(4) 茶樹

猛暑日が続いたものの、生理障害や病害虫被害も少なく、生育はおおむね順調であった。ブルーベリーでチュウゴクアミガサハゴロモの被害がある中、茶樹に関しては目立った被害はなかった。

3 病害虫の発生概況

(1) イネの病害虫

いもち病(平野部)	< 少 >	発生は少なかった。
いもち病(山間部)	< やや少 >	発生はやや少なかった。
紋枯病	< 少 >	発生は少なかった。
ニカメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
イネツトムシ	< 少 >	発生は少なかった。
コブノメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
ヒメトビウンカ	< 並 >	発生は平年並であった。
セジロウンカ	< やや多 >	発生はやや多かった。
斑点米カメムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

(2) 果樹の病害虫

ナシ

黒星病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
黒斑病	< 少 >	発生は少なかった。
赤星病	< 並 >	発生は平年並であった
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。

果樹共通

チャバネアオカメムシ	< 並 >	フェロモントラップ及び予察灯における誘殺数は平年並みであった。
クサギカメムシ	< やや多 >	予察灯の誘殺数はやや多かった。

(3) 茶樹の病害虫

カンザワハダニ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノコカクモンハマキ	< 並 >	フェロモントラップにおける誘殺数は平年並みであった。
チャハマキ	< 並 >	フェロモントラップにおける誘殺数は平年並みであった。
チャノホソガ	< やや少 >	フェロモントラップにおける誘殺数はやや少なかった。
ナガチャコガネ	< 少 >	予察灯の誘殺数は少なかった。

(4) 野菜の病害虫

トマト

モザイク病	< 少 >	発生は少なかった。
葉かび病	< 少 >	発生は少なかった。
白ぶくれ症	< 並 >	発生は平年並であった。
コナジラミ類	< 並 >	発生は平年並であった。
タバコガ類	< 並 >	発生は平年並であった。

キュウリ

うどんこ病	< やや多 >	発生はやや多かった。
べと病	< やや多 >	発生はやや多かった。

ナス

うどんこ病	< 並 >	発生は平年並であった。
ハダニ類	< 多 >	発生は多かった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。
ニジュウヤホシテントウ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノホコリダニ	< やや多 >	発生はやや多かった。

コマツナ

白さび病	< 少 >	発生は少なかった。
炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
キスジノミハムシ	< 少 >	発生は少なかった。

ネギ

黒斑病	< やや多 >	発生はやや多かった。
ネギアザミウマ	< 並 >	発生は平年並みであった。
ネギハモグリバエ	< 少 >	発生は少なかった。

(5) 花きの病害虫

シクラメン

ホコリダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 少 >	発生は少なかった。

花き共通の病害虫

灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。

(6) 島しょの病害虫

大 島：キキョウランのほぼ全ての花芽に、アオバハゴロモの発生が見られた。

パッションフルーツに、カイガラムシ類の発生がやや多く見られた。

レモンに、アオバハゴロモの発生がやや多く見られた。

三宅島：施設栽培のスイカ及びメロンに、コナジラミ類の発生がやや多く見られた。

母 島：パパイヤに、黒粉病の発生が目立った。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

4 侵入調査

チチュウカイミバエ	<誘殺なし>
ウリミバエ	<誘殺なし>
クインズランドミバエ	<誘殺なし>
ミカンコミバエ種群	<誘殺なし>
トマトキバガ	<誘殺あり>

病害虫防除所ホームページ

[https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp
/nourin/shoku/anzen/boujyo/](https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/nourin/shoku/anzen/boujyo/)

病害虫の発生予察情報、発生状況、防除方法、
防除のポイントなどをお知らせしています。